

## 細谷千博名誉教授著作目録

### 一 著書

一九五五年（昭和三〇年）

シベリア出兵の史的研究

〔新泉社『名著の復興』叢書第一七巻として一九七六年に再刊される〕

有斐閣

一九六二年（昭和三七年）

太平洋戦争への道 第五巻（共著）

朝日新聞社

一九七二年（昭和四七年）

ロシア革命と日本

原書房

一九七七年（昭和五二年）

Collaboration with Communist Countries in Managing Global Problems: An Examination of the Options. *The Triangle Papers 13* (共著)

The Trilateral Commission.

一九七九年（昭和五四年）

日本外交の座標

中央公論社

二 編著

一九六八年(昭和四三年)

日本における近代化の問題〔マリウス・ジャンセン編〕 編訳

岩波書店

一九七一年(昭和四六年)

日米関係史——開戦に至る一〇年(一九三一〜四一年)——全四卷(共編)

東京大学出版会

変容する国際社会の法と政治(大平善梧先生還暦記念論文集 共編)

有信堂

一九七七年(昭和五二年)

Okinawa Reversion, *International Studies Occasional Paper*, No. 12.

*International Studies Association.*

対外政策決定過程の日米比較(共編)

東京大学出版会

一九七八年(昭和五三年)

ワシントン体制と日米関係(共編)

東京大学出版会

一九八〇年(昭和五五年)

欧州共同体(E.C.)の研究——政治力学の分析——(共編)

新有堂

一九八一年(昭和五六年)

国際政治の世界——第二次大戦後の国際システム変容と将来の展望——(共編)

有信堂

一九八二年(昭和五七年)

日英関係史 一九一七～一九四九  
日米関係史——摩擦と協調の二三〇年——(共編)

東京大学出版会  
有斐閣

一九八三年(昭和五八年)

太平洋・アジア圏の国際経済紛争史 一九二二——一九四五

東京大学出版会

三 論文等

一九五〇年(昭和二五年)

一 橋法学の七五年(座談会)

ベルコヴィッツ著「イギリス資本と極東政策」(書評)

一 橋論叢 第二四卷第四号  
一 橋論叢 第二四卷第六号

一九五一年(昭和二六年)

一八九八年の英独同盟問題(上)

一八九八年の英独同盟問題(下)

国際法外交雑誌 第五〇卷第三号  
国際法外交雑誌 第五〇卷第五号

一九五三年(昭和二八年)

E・H・カー著「二つの大戦間の独ソ関係、一九一九～一九三九」(書評)

一 橋論叢 第三〇卷第三号

一九五四年(昭和二九年)

バセット著「日華紛争史」(書評)

アジア研究 第一卷第一号

一九五五年(昭和三〇年)

シベリア出兵の史的的研究について

外交史(一橋学問の伝統と反省)

Books, No. 63 七月号  
一 橋論叢 第三四卷第四号

一九五八年 (昭和三十三年)

Origin of the Siberian Intervention, 1917—1918.

*Annals of the Hitotsubashi Academy, vol. IX, No. 1.*

一九五九年 (昭和三十四年)

「二一条要求」とアメリカの対応

ヴェルサイユ平和会議とロシア問題

日本海軍陸戦隊のウラディヴォストローク上陸

一橋論叢 第四三卷第一号  
法学研究 (一橋大学研究年報) 第二号  
歴史教育 第七卷第一号

一九六〇年 (昭和三十五年)

Japanese Documents on the Siberian Intervention, 1917—1922: Part I, November, 1917—January 1919.

*Hitotsubashi Journal of Law and Politics, vol. 1.*

アイクの訪日中止

対ソ干渉戦争史をめぐる米ソの学界動向

時の法令 第三六一号  
一橋論叢 第四四卷第四号

一九六一年 (昭和三十六年)

三国同盟と日ソ中立条約 (上)

三国同盟と日ソ中立条約 (下)

日本とコルチャク政権承認問題——原敬内閣におけるシベリア出兵政策の再形成——法学研究 (一橋大学研究年報) 第三号

シベリア出兵をめぐる日米関係

自由 一〇月号  
自由 一一月号  
日本国際政治学会編 国際政治 第一七号

一九六二年 (昭和三十七年)

三国同盟と日ソ中立条約 (一九三九年—一九四一年)

「太平洋戦争への道」第五卷所収

一九六五年(昭和四〇年)

中国の実態(特集・日本はアジアで何をなすべきか)(座談会)

牧野伸顕とヴェルサイユ会議

近代日本を創った外交家一〇人を選ぶ(座談会)

大正外交における正統と異端——加藤高明と後藤新平

日米関係の破局、一九三九—一九四一——抑止政策とその誤算

太平洋戦争へのアメリカの道

仏前首相フォールとの対談

中央公論 四月号

中央公論 五月号

中央公論 五月号

日本及日本人 第一六卷第二号

一橋論叢 第五四卷第一号

中央公論 九月号

エコノミスト 五月四日号

一九六六年(昭和四一年)

アメリカ外交政策の形成基盤——日米類型比較を中心に

日露・日ソ関係の史的展開

国境——ナシヨナリズムの衝突——

シベリア出兵(座談会)

松岡洋右

エコノミスト 一月二五日号

日本国際政治学会編 国際政治 第三一号

朝日ジャーナル 一月二〇日号

池島信平編「歴史よもやま話」日本編(下)所収

「人物日本の歴史」第一四巻所収

一九六七年(昭和四二年)

Akira Iriye: After Imperialism, The Search for a New Order in the Far East, 1921—1931. (書評)

Japan's Decision for War in 1941.

Twenty Five Years After Pearl Harbor.

Japan's Decision for War in 1941.

HitoSubashi Journal of Law and Politics, vol. 5.

Occasional Papers of the East Asian Institute of Columbia University.

Peace Research in Japan, No. 1.

一九六八年(昭和四三年)

Japan and the United Nations. *Japan Institute of International Affairs, Annual Review, vol. 4, 1965-1968.*

Miscalculations in Deterrent Policy: Japanese-U. S. Relations, 1938-1941.

*Hitorisubashi Journal of Law and Politics, vol. 6.*

Miscalculations in Deterrent Policy: Japanese-U. S. Relations, 1938-1941.

*Journal of Peace Research (Oslo), vol. 5, No. 2.*

一九七〇年(昭和四五年)

University Problems in Japan.

*Japan Institute of International Affairs, Annual Review, vol. 5, 1969-1970.*

一九七二年(昭和四六年)

J. C. トムソン「国務省——人と機構」(翻訳)

細谷・斎藤・今井・蠟山編「日米関係史」第一卷所収  
細谷・斎藤・今井・蠟山編「日米関係史」第一卷所収

外務省と駐米大使館——一九四〇—一九四一年

大平善梧先生還暦記念論文集「菱容する国際社会の法と政治」所収

太平洋戦争と日本の対ソ外交——幻想の外交

Retregression in Japan's Foreign Policy Decision Making Process, in *Dilemmas of Growth in Prewar Japan*, ed. by James W. Morley.

Princeton University Press.

一九七二年(昭和四七年)

シベリア出兵の序曲

法学研究(一橋大学研究年報) 第八号

一九七三年(昭和四八年)

日本とソ連——その歴史的展望——

国民外交 一月号

対三極外交をいかに進めるか——東アジア安全共同体の提唱

中央公論 六月号

The Role of Japan's Foreign Ministry and Its Embassy in Washington, 1940-1941, in *Pearl Harbor as History*, ed. by D. Borg & S. Okamoto.

Columbia University Press.

一九七四年(昭和四九年)

太平洋戦争は不可避だったか

歴史と人物 八月号

Japan's Policies Toward Russia. in *Japan's Foreign Policy, 1868—1941, A Research Guide*, ed. by James W. Morley.

Columbia University Press.

Characteristics of the Foreign Policy Decision-Making System in Japan.

*World Politics*, vol. 26, No. 3.

The Military and the Foreign Policy of Prewar Japan.

*Hitotsubashi Journal of Law and Politics*, vol. 7.

一九七五年(昭和五〇年)

派兵——上——汚辱にまみれた戦争(座談会)

朝日ジャーナル 三月二十八日号

派兵——下——昭和の悲劇への跳躍台(座談会)

朝日ジャーナル 四月四日号

沖縄返還交渉の政治過程——総説

日本国際政治学会編 国際政治第五二号

ジョージ・サンソムと敗戦日本——《知日家》外交官の軌跡

中央公論 九月号

一九七六年(昭和五一年)

アメリカにおける日本研究の新しい動向

UP 一〇月号

外交文書と人間ドラマ(受賞の言葉、第十一回吉野作造賞決定発表)

中央公論 十一月号

Japan's Decision Making System as Determining Factor in Japan-United States Relations, in *Japan, America, and the Future World Order*, ed. by M. Kaplan & K. Mushakoji.

Free Press.

The Pre-war Japanese Military in Political Decision-Making, in *Military and State in Modern Asia*, ed. by Harold Z. Schiffrin.

Jerusalem Academic Press.

The Tripartite Pact, 1939-1940, in *Deterrent Diplomacy: Japan, Germany, and the U. S. S. R.*, ed. by James W. Morley.

Columbia University Press.

一九七七年(昭和五二年)

総説 対外政策決定過程における日米の特質

ECとコメコン

外交官・吉田茂の夢と挫折

歴史的発達

研究システムの国際化

細谷・綿貫編「対外政策決定過程の日米比較」所収

外務省調査月報 第一八巻第二号

中央公論 八月号

「米国における日本研究」国際交流基金叢書 第一巻

「米国における日本研究」国際交流基金叢書 第一巻

一九七八年(昭和五三年)

ワシントン体制の特質と変容

解題 日米交渉資料——昭和一六年二月～二月——

齋藤鎮男著「国際連合論序説」(書評)

日米関係二世紀への構図(対談 マイク・マンズフィールド、細谷千博)

『全方位』日本の進路

日米外交における不信の誕生

一九三四年の日英不可侵協定問題

Japan's "Omnidirectional" Course.

細谷・齋藤編「ワシントン体制と日米関係」所収

外務省編 原書房

世界経済評論 第二二巻第三号

中央公論 三月号

中央公論 一〇月号

中央公論 十一月号

日本国際政治学会編 国際政治 第五八号

Japan Echo, vol. 5, NO. 4.

一九七九年(昭和五四年)

総説 (戦後日本の国際政治学)

国際政治にどう対処するか——石橋湛山の国際観を振り返りつつ——(座談会)

EC・日本間の貿易紛争をめぐる交渉

Relations between the European Communities and Japan.

George Sansom: Diplomat and Historian.

The Emerging Role of Japan in the Framework of a New Relationship with Latin America, in *America Latina*.

日本国際政治学会編 国際政治 第六一・六二号

自由思想 十一月号

国際問題 第二三七号

*Journal of Common Market Studies*, vol. 18, No. 2.

*Hirotsukashi Journal of Law and Politics*, vol. 8.



*Clase Media de las Naciones?*

Instituto de Estudios Internacionales de la Universidad de Chile

一九八〇年(昭和五五年)

ECとロメロン

ECと日本 (大隈宏との共同執筆)

反動・保守・リベラル (座談会)

激動する世界と日本の対応——新しい軍事対決は如何に發展するか (対談)

The Japanese-Soviet Neutrality Pact, in *The Fateful Choice: Japan's Advance into Southeast Asia, Nineteen Thirty-nine to Nineteen Forty-one*, ed. by James W. Morley.  
Columbia University Press.

細谷・南編「欧州共同体 (EC) の研究」所収

細谷・南編「欧州共同体 (EC) の研究」所収

中央公論 一〇月号

エコノミスト 十一月二〇日臨時増刊号

一九八一年(昭和五六年)

東西軸の中の日本

舞台の風景

日・米・中三極関係の歴史的構図

Japan's Response to U. S. Policy on the Japanese Peace Treaty: The Dulles-Yoshida Talks of January-February 1951.

*Hitoisubashi Journal of Law and Politics*, vol. 10.

The 1934 Anglo-Japanese Nonaggression Pact. *International Studies Quarterly*, vol. 25, No. 3.

The Road to San Francisco: The Shaping of American Policy on the Japanese Peace Treaty.

*The Japanese Journal of American Studies*, No. 1.

日本放送出版協会 「日本の条件」所収

細谷・白井編「国際政治の世界」所収

国際問題 第一五四号

一九八二年(昭和五七年)

《シンポジウム》国際政治の交容と日本外交の選択 (座談会)

日・EC貿易摩擦緩和に向けて

アメリカの対日講和政策の展開——一九四九—五〇年

法学セミナー増刊号

経済と外交 五月号

日本国際政治学会編 国際政治 第七〇号

国際社会のなかでの日米関係

日本の英米観と戦間期の東アジア

〈付〉総括報告

吉田書簡と米英中の構図

朝鮮戦争・原爆投下の危機

Dules-Yoshida Talks, 1950—1951, in *The East Asian Crisis, 1945—1951*, ed. by Ian Nish.

Cambridge University Press.

一九八三年（昭和五八年）

北サハリンの石油資源をめぐる日・米・英の経済紛争

細谷編「太平洋・アジア圏の国際経済紛争、一九二二——一九四五」所収

#### 四 受賞

吉野作造賞

ジョージ・サンソムと敗戦日本——『知日家』外交官の軌跡 中央公論 一九七五年九月号

毎日出版文化賞特別賞、吉田茂賞

日米関係史——開戦に至る一〇年（一九三一～四一年）全四巻（細谷千博・斎藤真・今井清一・蠟山道雄編）東京大学出版

会 一九七一～七二年

吉田茂賞

外交官・吉田茂の夢と挫折 中央公論 一九七七年八月号

日本外交史辞典 外務省外交資料館 日本外交史辞典編纂委員会編（編纂委員会委員長を務める）一九七九年

細谷・本間編「日米関係史」所収

細谷編「日英関係史 一九一七～一九四九」所収

細谷編「日英関係史 一九一七～一九四九」所収

中央公論 十一月号

歴史と人物 第一四〇号